

♪ 今日も子どもたちは、小さな手をひろげて 光と、そよ風と、友だちを呼んでる
だれかがどこかで答えてる その子の名前を叫ぶ 名前 それは燃える生命
ひとりの地球にひとりずつひとつ *Every child has a beautiful name*

A beautiful name, a beautiful name 呼びかけよう名前を すばらしい名前を ♪

ロックバンド・ゴダイゴの楽曲「ビューティフル・ネーム」が出されたのは、1979（昭和54）年のことでした。国連が「国際児童年」とする旨宣言した年であり、この歌は協賛歌でもありました。この「宣言」は1989年の「児童の権利に関する条約」実現に至っています。

メルマガ読者の皆様には、ご記憶の方も多くいらっしゃるかと思います。歌詞を口ずさむと子どもたちの笑顔、躍動する姿が自ずと浮かんでくるようです。

人の名前はその人格と一体のものですし、尊厳あるものです。子どもにとって、名前は親からの最初のプレゼントですし、たくさんの愛情や願いが込められたものと言えます。

さて、NHK ニュースや新聞などでも報じられたのでご承知のことと思いますが、11月29日、明治安田生命が今年生まれた赤ちゃんの名前ランキングを発表しました。（調査は1989年開始で今年が33回目。個人保険・個人年金保険の既契約情報が調査対象）

男の子の名前は、『蓮』さん、女の子は『紬』さんがトップとのこと。解説によると、『蓮』は植物の蓮が泥の中で力強く根を張る特徴から大地に根ざす力強いイメージがあり、また連なってたくさんの実をつけることから、人とのつながりや困難に打ち克つ子であるよう願ったのではとあります。一方、『紬』は、調査開始から初めて1位を獲得とのこと。「紬」は糸を掛け合わせてたいへんな手間と時間をかけて丹念に作られることから「つなぐ」「根気強さ」「丈夫さ」などを連想させ、丈夫で長生き、人の輪のつながり、また音の柔らかい響きが与える温和感に人気が集まったのではないかとありました。

紹介されているたくさんのお名前を見ると、どの名前、文字にも、健やかに成長してほしい、幸せになってほしいと、親の愛情を感じ取ることができますし、多様さにも驚かされます。

ところで、その裏腹に児童虐待が年々増加していることは憂慮されます。川崎市の令和2年度の集計結果では、虐待の相談・通告件数は5,557件、前年の4,506件から23.3%の増加となっています。増加傾向が続いていますが、特に令和2年度の増え方は顕著といえます。

種別では、心理的虐待が半数を占めますが、全国では虐待で亡くなる事件もあります。年齢別では、就学前までの乳幼児が半数を占めますが、親を絶対的に信じ慕っている幼い子どもが、その親から虐待されることほど悲惨なことはありませんし、社会全体で見守らなければなりません。川崎市では「子どもの権利に関する条例」が施行されていますが、権利主張できない幼い子どもをいかに守るかを真剣に考えた、更なる対策の強化が望まれます。

「ビューティフル・ネーム」の歌の最後には、「♪ どの子にもひとつの生命が光ってる
呼びかけよう名前を すばらしい名前を ♪」という歌詞があります。子どもたち誰もの生命が光輝くものであってほしい。そうした気持ちでいっぱいになります。（N.W）